

---

# 現実ヲタク -プロローグ-

新名桜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

現実ヲタク - プロローグ -

### 【Nコード】

N6440N

### 【作者名】

新名桜

### 【あらすじ】

これは、現実をこよなく愛し、空想を頭ごなしに否定する、『現実ヲタク』が自分自身と戦うという、極狭い世界観で繰り広げられる物語である。

\*\*\*プロローグ\*\*\*

「佐波さん、昨日の『トコラブ』見ました？」

「もち！毎週チェックしてるよん。まさかあの二人がくつつくとはね〜。」

「ですよーね！あの展開は予想外！でもあの型破りなストーリーがまたいいですよ〜。」

ここはとある会社の社員食堂。今は昼休みで、いつものように事務の女の子たちが雑談に花を咲かせている。静かに昼のひと時を過ごそうと思っていた俺だったが、不運にも席が混んでいて、その集団との相席を余儀なくされた。普段は別にそれでもかまわなかった。でも今日は、彼女たちの話す話題が良くなかった。

「国村さんは見てます？『トコラブ』」

「え、トコラブ？」

女の子の一人が俺に話しかけた。どうやら話を振られないように黙っていたのが裏目に出たようだ。

「『知床ラブストーリー』ですよ。今話題の恋愛ドラマ！」

「ごめん、俺ドラマとかあんまり見ないんだ。」

「え〜面白いのに！原作も人気で100万部突破したってニュースで」

「そうなんだ！今度時間があつたら見てみようかな〜ハハハ。」

よし、今日も華麗にスルー。女の子たちは別の話題で再び盛り上がり始めた。

俺はそのスキに社食のきつねうどんを掻っ込んで、そそくさとその場を後にした。

さっきの会話で俺は二つ嘘をついていた。

一つは『知床ラブストーリー』を知らないと言ったこと。本当は名前とあらずじくらは知っている。

当然だ。新聞やテレビのニュースで最近毎日のように話題に上がっているのだから、頭に残らないほうがおかしい。しかしあの時、『知っている』と答えれば『トコラブ』の話題で話が膨らんでしまう。俺はそれを恐れたのだ。

そしてもう一つは、ドラマをあまり見ないと言ったこと。これはもう大嘘だ。

俺はドラマを“あまり”見ないのではなく“全く”見ないのだ。しかも、ドラマだけではない。

映画、小説、マンガ、ゲームなど“作られたもの”には一切手を付けない。それがどれだけの傑作であっても、世間の評価が高くても現実を起こっていないことや起こり得ないことには必ずと言っていいほど拒絶反応を起こしてしまうのだ。

俺がこんな風になってしまのにはいくつか思いあたる要因があるが、いまひとつはつきりとはわからない。ただ、ドラマを見なかったところで生活に支障はないし、小説を読まなかったところで死ぬわけでもない。さっきのように、少々会話に困ることもあるが、それ以外はいたって普通だし、別に変人扱いされることもないので、特に改めようという気にもならず、そのまま過ごしてきた。もちろん、これから先もそうやって『現実』に忠実に、生きていくつもりだ。

そのはずだったんだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6440n/>

---

現実ヲタク-プロローグ-

2010年10月10日11時50分発行